2022年11月13日

関係者 各位

鹿児島県フットサル連盟
理事長 園田 昭人

鹿児島県フットサルリーグ・各種大会における新型コロナウイルスの感染防止対策について

今後は、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン」（第12版）の記載事項について、これを遵守することを基本とし、引き続き「鹿児島県フットサルリーグ・各種大会等」の運営については、新型コロナウイルス感染・拡大防止の観点から、主に以下の対策を徹底して取り組んでまいります。

＜実施事項＞

① 体育館入室時に検温及び消毒を全員必ず行う。（37．5度以上の場合入館できない）
② 入り口のドアや窓を開け、換気扇を回す。「三つの密」を避ける。
③ 個室などの密閉した部屋は、滞在時間を短くし、密集を避け、換気扇を常に回す等の対応を講じて使用する。
④ 各チームの試合前後の対応について
※試合前・・入場後は観客席で待機する。人と人の感覚（2m を目安）を十分に確保する。
※試合後・・ダウン並びに更衣が済み次第、観客席で観戦する。可能ならば会場に留まることなく退場する。
⑤ 発熱や風邪、味覚障害の症状がある選手・関係者及び体調がすぐれない選手・関係者の入場は認めない。また、同居家族や身近な人に軽度であっても体調が良くない症状がみられる場合は、感染が疑われるため、自主的に参加を見合わせる。
⑥ 咳エチケット、こまめな手洗い、手指消毒などの周知徹底。
⑦ 各自で購入または持ち込んだ飲食物等のゴミは、感染防止のため、各自で持ち帰る。
⑧ 入場者に対するマスクの着用の徹底。
なお、各自水分を十分に補給し熱中症に注意する。
⑨ 入口及び施設内に手指消毒設備を設置。

＜試合運営についての対応＞

① ボールパーソン・オフィシャル・受付等を担当する者のマスクの着用の徹底。
② チーム関係者のマスクの着用の徹底。
なお、各自水分を十分に補給し熱中症に注意する。
③ 接触（手で触れる）の回避
試合中の得点の喜びで「選手・チームスタッフ等との過度な接触」は極力避ける。
試合前後のセレモニーで「選手・チームスタッフ等との過度な接触」は極力避ける。

握手セレモニーは実施しないが、相手チーム、審判団との交流ではグータッチを推奨する。

④ 更衣室の使用時間・利用人数の制限。「三つの密」を避ける。

⑤ 大声での会話が行われないよう、BGM や機械の効果音等を最小限に調整。